

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療秘書・情報学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	レセプト実務 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	笠村 幸子	実務経験とその関連資格	近畿大学病院にて医事課に勤務。診療報酬請求事務能力認定試験(医科)。			
《授業科目における学習内容》						
医療秘書技能検定2級、診療報酬請求事務能力認定試験を目指すことで、診療録をもとに外来、入院の診療報酬明細書を作成できるようになる						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験(70%)、出席評価点(20%)、平常評価点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『診療点数早見表』、『応用カルテ例題集』、『医療秘書技能検定実問題集2級②』『診療報酬請求事務能力認定試験受験対策と予想問題集』						
《授業外における学習方法》						
授業で学習した診療料の算定方法や明細書の記載要領の復習を行う。また、授業終了時に示す課題を実施しておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
繰り返し学習し理解をしましょう						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	復習テストを理解解ける	・点数早見表 ・応用カルテ例題集		
		各コマにおける授業予定	前期授業の復習			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定方法を理解する。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	救急医療管理加算の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	救急医療管理加算の算定方法を理解する。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	肺血栓塞栓症予防管理料の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	肺血栓塞栓症予防管理料の算定方法を理解する。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	手術と同一日の注射手技料の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	手術と同一日の注射手技料の算定方法を理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	手術と同一日の注射手技料の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	手術と同一日の注射手技料の算定方法を理解する。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	全身麻酔①算定方法を説明できるようになる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	全身麻酔①算定方法を理解する。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	全身麻酔②算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	全身麻酔②算定方法を理解する。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	材料の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	材料のの算定方法を理解する。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	時間外特例加算、院内トリアージの算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	時間外特例加算、院内トリアージの算定方法を理解する。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	麻酔管理料の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	麻酔管理料の算定方法を理解する。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	夜間休日救急搬送医学管理料の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	夜間休日救急搬送医学管理料の算定方法を理解する。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	吸引留置カテーテルの算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	吸引留置カテーテルの算定方法を理解する。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	病理診断管理加算の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	病理診断管理加算の算定方法を理解する。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	入院レセプト(アレンジ①)を解くことができる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	入院レセプトの振り返りを実施する。		

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療秘書・情報学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	レセプト実務 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	笠村 幸子	実務経験と その関連資格	近畿大学病院にて医事課に勤務。診療報酬請求事務能力認定試験(医科)。			
《授業科目における学習内容》						
医療秘書技能検定2級、診療報酬請求事務能力認定試験を目指すことで、診療録をもとに外来、入院の診療報酬明細書を作成できるようになる						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験(70%)、出席評価点(20%)、平常評価点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『診療点数早見表』、『応用カルテ例題集』、『医療秘書技能検定実問題集2級②』『診療報酬請求事務能力認定試験受験対策と予想問題集』						
《授業外における学習方法》						
授業で学習した診療料の算定方法や明細書の記載要領の復習を行う。また、授業終了時に示す課題を実施しておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
繰り返し学習し理解をしましょう						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	演習形式	授業を通じての到達目標	入院レセプト(アレンジ②)を解くことができる。	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	入院レセプトの振り返りを実施する。			
第 17 回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.12を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.12を理解する			
第 18 回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.31を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.31を理解する			
第 19 回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.13を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.13を理解する			
第 20 回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.14. 15を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.14. 15を理解する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.32を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.32を理解する		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.16を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.16を理解する		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.17を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.17を理解する		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.18. 19を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.18. 19を理解する		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.33を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.33を理解する		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療秘書技能検定2級過去問題第74回の算定方法を理解し解けるようになる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医療秘書技能検定2級過去問題74回の算定方法を理解する		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療秘書技能検定2級過去問題第73回の算定方法を理解し解けるようになる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医療秘書技能検定2級過去問題73回の算定方法を理解する		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療秘書技能検定2級過去問題第72回の算定方法を理解し解けるようになる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医療秘書技能検定2級過去問題72回の算定方法を理解する		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療秘書技能検定2級過去問題第71回の算定方法を理解し解けるようになる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医療秘書技能検定2級過去問題71回の算定方法を理解する		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療秘書技能検定2級過去問題第70回の算定方法を理解し解けるようになる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医療秘書技能検定2級過去問題70回の算定方法を理解する		

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療秘書・情報学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	レセプト実務 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	笠村 幸子	実務経験と その関連資格	近畿大学病院にて医事課に勤務。診療報酬請求事務能力認定試験(医科)。			
《授業科目における学習内容》						
医療秘書技能検定2級、診療報酬請求事務能力認定試験を目指すことで、診療録をもとに外来、入院の診療報酬明細書を作成できるようになる						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験(70%)、出席評価点(20%)、平常評価点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『診療点数早見表』、『応用カルテ例題集』、『医療秘書技能検定実問題集2級②』『診療報酬請求事務能力認定試験受験対策と予想問題集』						
《授業外における学習方法》						
授業で学習した診療料の算定方法や明細書の記載要領の復習を行う。また、授業終了時に示す課題を実施しておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
繰り返し学習し理解をしましょう						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療秘書技能検定2級過去問題第69回検定試験自己採点し理解し解けるようになる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	医療秘書技能検定2級第69回の算定方法を理解する			
第32回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.20を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.20を理解する			
第33回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.34を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.34を理解する			
第34回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.21を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.21を理解する			
第35回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.35を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.35を理解する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第36回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.21を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.21を理解する		
第37回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.35を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.35を理解する		
第38回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.22を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.22を理解する		
第39回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.36を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.36を理解する		
第40回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.23を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.23を理解する		
第41回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.37を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.37を理解する		
第42回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.24を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.24を理解する		
第43回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.38を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.38を理解する		
第44回	演習形式	授業を通じての到達目標	入院レセプトの復習テストを理解し解ける	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	入院レセプトの復習		
第45回	演習形式	授業を通じての到達目標	外来レセプトの復習テストを理解し解ける	・点数早見表 ・応用カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	外来レセプトの復習		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療秘書・情報学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	レセプト実務 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	笠村 幸子	実務経験と その関連資格	近畿大学病院にて医事課に勤務。診療報酬請求事務能力認定試験(医科)。			
《授業科目における学習内容》						
医療秘書技能検定2級、診療報酬請求事務能力認定試験を目指すことで、診療録をもとに外来、入院の診療報酬明細書を作成できるようになる						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験(70%)、出席評価点(20%)、平常評価点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『診療点数早見表』、『応用カルテ例題集』、『医療秘書技能検定実問題集2級②』『診療報酬請求事務能力認定試験受験対策と予想問題集』						
《授業外における学習方法》						
授業で学習した診療料の算定方法や明細書の記載要領の復習を行う。また、授業終了時に示す課題を実施しておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
繰り返し学習し理解をしましょう						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第46回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.25を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.25を理解する			
第47回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.39を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.39を理解する			
第48回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.26を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.26を理解する			
第49回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.40を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.40を理解する			
第50回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.27を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.27を理解する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第51回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.28を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.28を理解する		
第52回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.41を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.41を理解する		
第53回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.29を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.29を理解する		
第54回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.42を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.42を理解する		
第55回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.30を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.30を理解する		
第56回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.43を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.43を理解する		
第57回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.44を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.44を理解する		
第58回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用カルテNo.45を理解しレセプト作成ができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	応用カルテNo.45を理解する		
第59回	演習形式	授業を通じての到達目標	外来・入院レセプト(アレンジ①)を解くことができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	外来・入院レセプトの振り返りを実施する		
第60回	演習形式	授業を通じての到達目標	外来・入院レセプト(アレンジ②)を解くことができる	・点数早見表 ・応用例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	外来・入院レセプトの振り返りを実施する		